



発行
(一社) 沖縄県PTA連合会

〒900-0002
那覇市曙2-26-27
TEL (098) 867-3582
FAX (098) 867-0309

責任者 石川 謙



初日の出（中城村南上原） 撮影者：末吉建作

新年のご挨拶



会長 石川謙

新年もあけまして、すぐの1月14日に、第59回沖縄県PTA研究大会国頭大会が開催されました。が、1750名余の会員が参加して頂き、無事に成功裏に終えることができましたことに感謝しております。

私が会長として就任してから、2年目の後半にさしかかりました。見るPTA活動を目標に会員により良い情報を提供し、日々、活動に役立てるよう努めておりますが、まだまだ不十分なところ

ます。

沖縄県PTA連合会は、創立して今年で70周年を迎えます。設立からの沿革を見ておりますと、先輩の方々が実施されてきた行事等を絶やすことがないように務めます。

制度が確立するまでには時間が要します。つきましては、各単位PTAにおいて地域と連携し、子ども達の環境が良くなることは、進んで実践して頂けたら、子ども達にとって一番良いことだと思います。

主張的に参加し、大会を盛り上げ、学んで得られるお土産をたくさん持ちはり上げてほしいと思います。今年も会員の皆様にとつてより良い年でありますよう祈念して新年のご挨拶とします。



来年1月開催の県PTA研究大会をPRする中頭地区の会員

PTA研究大会中頭大会が開催されます。今大会は、県P創立70周年の記念大会でもあり、色々な大会成功のため奮闘していることと思います。参

加する他の地区P会員は、単なるお客様にならず、主張的に参加し、大会を盛り上げ、学んで得られるお土産をたくさん持ちはり上げてほしいと思います。

第68回 沖縄県小中学校童話・お話・意見発表大会

島尻大会 審査講評

(小学校・低学年・男子 豊城小学校)

1. 内容

・学年にふさわしい題材が多く取り入れられていたが、中には落語的なものがあり、「どうかな?」というものもあった。

2. 音声

・皆、声が大きく良かった。お話を自分のものにして、語る様に発表していたのが良かった。

・言葉は表情があり、良かつた。

・語尾が聞き取れない部分があった。
・言葉が速くて、聞き取りにくい部分もあった。

3. 態度

・堂々と自信をもって発表「どうかな?」といつものもあった。

・顔の表情が良かつた。

・ジェスチャーがオーバーになる子もいた。自然体で話をした方が良い。

・上手、下手がはっきりしないところがあった。

・間の取り方をもっと工夫したら効果的だと思う。

・言葉が早くなり、聞き取りにくい場面もあった。

・顔の向きや表情を工夫して、内容を伝えようとしている。

・顔の向きや表情を工夫して、内容を伝えようとしている。



小高・男子最優秀賞



(小学校・低学年・女子 ゆたか小学校)

1. 内容

・どの内容も素晴らしい。
人物、情景が伝わった。



(小学校・低学年・女子 ゆたか小学校)

1. 内容

・間違えがあった。
夫がなされ、聞き手によく伝わった。

・声量が聞き手にしつかり

2. 音声

・内容が発表者の学年に対して幼い(?)ものもあるのではないか?

・登場人物によって声の変化(強弱・高低・緩急)の工夫がなされ、聞き手によく伝わった。

・声量が聞き手にしつかり

・声量が聞き手にしつかり

・声量が聞き手にしつかり

・声量が聞き手にしつかり

3. 態度

・間違えがあった。

・間違えがあった。

・間違えがあった。

・間違えがあった。

・間違えがあった。



(小学校・高学年・男子 糸満南小学校)

1. 内容

・題材が自然や世界平和、家族など広がりがあった。
・自然の体験を周りの人との関わりを通して、整然とまとめてあった。

・自分の長所や課題を明確にしつかり

・敬体、常体の使い方、言葉の意味理解とそれを表現する手法を工夫する。

・聞き手意識が弱い代表者

・読み取り、声(声量や声色等)を工夫して伝えることができる様になるよ。

・声が大きく、強弱をつけ、山場を上手に表現していた。

・すべての語尾を上げるので気になり、内容に集中できなかった。

・音声表現での伝え方に工夫があるかをポイントに審査を行っているので、音声表現を工夫する。

・声が大きくなり、内容に集中できなかった。

・すべての語尾を上げるので気になり、内容に集中できなかった。

・音声表現での伝え方に工夫があるかをポイントに審査を行っているので、音声表現を工夫する。

・意見文が多かったので、次回から応募要項を周知する。

2. 音声

・服装が清潔で感じが良い。
・すべての児童が上履きで登壇していた。

・意見文が多かったので、次回から応募要項を周知する。

3. 態度

・服装が清潔で感じが良い。
・すべての児童が上履きで登壇していた。

・意見文が多かったので、次回から応募要項を周知する。



第68回沖縄県小学校童話・お話大会
主催(一社)沖縄県PTA連合会

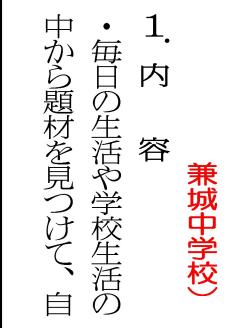
が若干名おり、工夫が必要であった。

2. 音 声

- ・聲音が張り上げすぎるか、一本調子、声をのむ等が多く、声の変化に工夫が必要。
- ・口形がはつきりせず、こもり氣味であった。



中学・男子最優秀賞

1. 内 容
中から題材を見つけて、自

- ・毎日の生活や学校生活の

は一考する。感情表現のバランスを考える。

- ・始めのあいさつの仕方で、大人の接遇(胸元で手を組み)を前後にゆする言い方は一考する。
- ・聞き手に興味を抱かせるような文題(テーマ)の工夫が多くあった。
- ・家庭生活という身近な体験に焦点を当て、自分の訴えたい意見に結びつけた内容が多かった。
- ・学校生活、社会生活などの体験から中学生らしい意見を引き出し、分かりやすい言葉で発表していた。

3. 態 度

- ・間の取り方に工夫が必要。
- ・アクセント、強弱を無理なく、自然体で伝えられるように工夫する。

(中学校・男子) 潮平中学校



小高・女子最優秀賞

1. 内 容

3. 態 度

- ・原稿をしっかりと覚えていないために、自信のない発表があった。
- ・発表の内容によって視線、しぐさに工夫を凝らしていく発表があった。

- ・自分の体験をもとに考えることで、自分のものとしている。
- ・原稿を自分のものとしている。
- ・一步踏み込んで、社会や一般的なものへのつながり、深まること。

発表していた。

と、もっと訴える力

につながら。

題名と内容の一貫性。

明瞭な発音、声のトーン等、意識して音量の調整が必要。

発表していた。

金体的に良かった。

金体的に良かった。

- ・手は自然体で下ろす。後ろに組まない。
- ・オーバーアクションやジャスチャーは、分量を考える。
- ・上手、下手の使い方を工夫する。

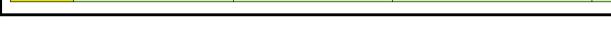
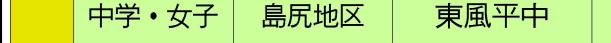
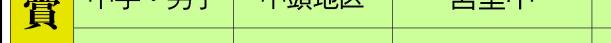
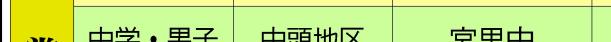
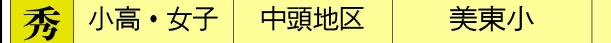
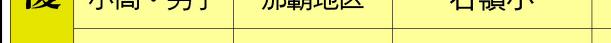
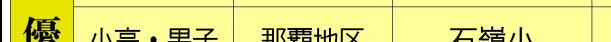
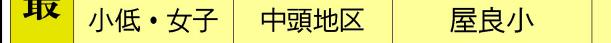
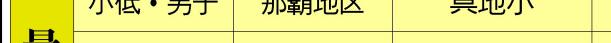
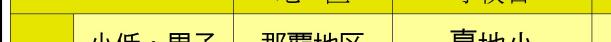


中学・女子最優秀賞

2. 音 声

が若干名おり、工夫が必要であった。

が若干名おり、工夫が必要であった。



第59回 沖縄県PTA研究大会 国頭大会

「育てよう今を！見守ろう今を！すべては子どもたちのために」
つながろう つなげよう 緑豊かなやんばるの地で、



名護桜太鼓によるアトラクションで全体会が幕開け

全体会

県P広報委員 新垣早苗

「名護桜太鼓」による勇壮で愛らしいアトラクションにはじまり、沖縄県小中学校意見発表大会（県P主催）において最優秀賞に輝いた2名の中学生による意見発表、「ハルサーミューージシャン アイモコ」による記念講演、功労者表彰式等が行われました。「耕せ未来！」の演題で行われたアイモコによる記念講演は、歌あり笑いあり涙ありの内容で、事後アンケートにおいて「愛あるアイモコさん」の講演、大変惚れました」「失敗談から今あること、ハルサー（畑仕事）から学ぶ、作物を育てる」と子（人間）育ては通じるものがありPTA研究大会にふさわしい講演でした」等の



アイモコによる記念講演

声が寄せられ好評でした。また、今大会より時間短縮を目指しての表彰方法を変更する試みがあり、会の運営の工夫が見られました。

他方、会員からの要望により前大会から実施している入賞広報紙の全体会会場における展示では、「展示広報紙が紛失する」事態が発生し問題を残しました。次年度の県P研究大会は中頭地区が主管で開催される予定で、県P70周年記念及び研究大会60回を記念する大会となります。中頭地区会長の濱比嘉氏のかけ声にも象徴されるように例年とは何かが違う「愛」あふれる大会になるのではと期待され、楽しみです。

分科会参加報告

第1分科会

伊良波小学校PTA 副会長 大城奈月

私は「PTA活動を活発にするための組織・運営を考えよう」についての分科会に参加しました。

実践発表では、宮古島市立北小学校と名護市立久辺中学校での、活発な活動報告がありました。

1. PTAとは、P(ぱつと集まる)

T(楽しそ) A(明るく) 活動すること。

2. 学校の規模や環境に応じて、魅力あ

る行事やニーズにあつた学

び合い活動を仕掛けること。

3. できる人が、できる時

に、できる事をすること。

『子供のために、親も楽し

みながら学ぶ』できる事を

一歩ずつ始め、仲間を増や

していく。意見として、連絡手段は、グループLINE

Eを活用して調整できたり、PTA活動のPRにSNS

を利用していきたい。など

がありました。また今後は地域と共にある学校『ミユニティースクール』が、増える傾向にあり、さらに地域と連携し、子ども達の方と保護者が協力できる組織づくりを目指したいと感じました。

第2分科会

室川小学校PTA 総務委員長 真榮城健二



第1分科会のオープニングアトラクション

私は「健全育成と地域連携」の分科会に参加しました。本会では、青少年の健全育成とPTAと地域間における連携の必要性について



力・共有の大切さについて」、嘉味田氏は「地域自治会の方々や、PTA役員OBからの誘いで共に歩み寄ることで連携が生まれ、行事等への参加・協力することでつながれ大切さについて」提言していました。

お二人のお話を聞くと、一つの共通点があると思います。一人ではできない事も、共有し、共感し、共に知恵を絞って情報を広げると『人と人とのつながりが返ってくる』ことです。

私は、たまたま父や母がPTA活動や地域活動に関わっていたことで、幼い頃から様々な行事に参加する機会があり、高校3年から関わった青年会では、青年会長を務めさせていただきました。地域のボランティア活動や学校行事、自治会行事に参加することを教えてくれたことが、今も関わっていることにつながっています。

隣近所との希薄化、PTA活動への参加等の課題がある今、森岡氏は「地域住民とのつながりを通して、自治会と共に続いている行事やボランティア活動の協

よ」「ありがとう」「一緒に考えよう」「来週の行事、一緒に参加できそう?」声かけは決して待つだけではなく、お互い勇気を一步踏み出すことだそうです。

今回の分科会で学んだことを通して、何か困ったことで相談したい、協力をお願いしたい、参加したい等、願いしたい、様々な場面に直面した時は、『共に手を携えて支え合い、助け合い、つなげていきたい』と思います。

年度上旬にPTA会長さん自ら保護者へ取り組みの説明・周知をし、早寝に関する実態調査、アンケートを行なう、その後、保護者と高学年児童へ睡眠についての講演会にて、睡眠の重要性を学ぶ。実態調査のアンケート内容を集計結果・考察し保護者へ提案(5つの提案)をする。提案内容は、すごく簡単な事で、「夕飯時はテレビを消す・宿題に取りかかる時間を早める・早めにTV等を消し、就寝の環境を整える」等、全て保護者の声かけが必要な事です。その提案内容を各学年、一家族ずつモニタリング(一週間限定)をし、さ

くましい子どもを育てる家庭教育を考えよう』2校の発表がありました。特に北谷小学校PTAの基本的な生活習慣(早寝早起き朝ごはん)を身につける為の親の役割についての発表が発表がありました。

年頭にPTA会長さん自ら保護者へ取り組みの説明・周知をし、早寝に関する実態調査、アンケートを行なう、その後、保護者と高学年児童へ睡眠についての講演会にて、睡眠の重要性を学ぶ。実態調査のアンケート内容を集計結果・考察し保護者へ提案(5つの提案)をする。提案内容は、すごく簡単な事で、「夕飯時はテレビを消す・宿題に取りかかる時間を早める・

ほぼ年間を通して根気のいる作業で、PTA会長さんが保護者へ伝いたい気持ちが凄く伝わりました。結果、大事なのは家庭教育とは、全てにおいて基本となり、我々大人が子どもの手本となり、子どもと対話をすると、家庭教育が大事なんだと改めて感じました。この内容を町P連・単Pに持ち帰り、今後のPTA活動へ生かしていきたいと思います。

家庭学習の定着、魅力ある学校づくりには地域と連携し、学力の向上に充実した家庭学習の定着、魅力ある学校づくりには地域と連携し、地域の伝統行事に親と子ども達が積極的に参加することにより、生きていくための知識や、技能が自然と身につく。など。

心豊かな子ども達を育てるよう。できる時にできる事を楽ししながら参加しよう!という両校の聞いて、私自身も子どものために、そして、子ども達が21世紀を生きていくために心豊かに逞しく育っていくよう、積極的に協力していく。また、少し反省しながらの研修会を終えきました。

学校づくりを考えよう】と、いうテーマのもと、PTAとして、どう関わればよいのか。考えさせられました。

どう関わればよいか・・・、これからの時代に必要となる資質と能力を育てるために学習習慣、生活習慣を身につけ生きる力を育む。そのためには学校と家庭が連携し、学力の向上に充実した家庭学習の定着、魅力ある学校づくりには地域と連携し、地域の伝統行事に親と子ども達が積極的に参加することにより、生きていくための知識や、技能が自然と身につく。など。

心豊かな子ども達を育てるよう。できる時にできる事を楽ししながら参加しよう!という両校の聞いて、私自身も子どものために、そして、子ども達が21世紀を生きていくために心豊かに逞しく育っていくよう、積極的に協力していく。また、少し反省しながらの研修会を終えました。



第4分科会の会場の様子



会場内に広報誌コンクール入賞作品を展示

インパクトのある表紙や、「楽しく、負担なく、親しみやすい」広報紙作りのノウハウの紹介が印象に残り、糸満中学校の発表では、学校にある様々な問題や関心事について、上手く記事として載せている点が印象になりました。

真嘉比小学校PTA副会長 大里朝之

官野座小学校にて「広報」の分科会が行われました。分科会では、琉球新報社関戸塩さんの講演、今年度広報紙コンクールで最優秀賞の真嘉比小学校、糸満中学校の方からの発表がありました。

関戸さんの講演では、同じ記事の内容でも、見出し、レイアウトなどの見せ方でより分かりやすく表現できる方法などがとても参考になりました。

真嘉比小学校の発表では、

第5分科会

真嘉比小学校PTA

討論では、各学校が抱えていること、特に広報部員になりたい人がいない点や、記事のマンネリ化を変えていく点など、活発で内容ある討議が展開されました。

これからも学校・保護者・地域をつなぎ、「子ども達が読みたくなる」広報紙づくりが大切だと改めて感じました。

安心・安全な社会とはどんな社会か、突き詰めていくと『挨拶が出来る社会』

というキーワードに辿り着きました。朝、家庭で挨拶。学校への道すがらご近所へ挨拶。学校付近の横断歩道の立哨当番や民生委員さんへ挨拶。家庭や学校だけが挨拶をする場ではなく、挨拶を当たり前にすることでお近所さんが分かり、立哨している民生委員さんや保護者が分かり、家庭・学校・地域がつながる社会になります。それこそが安心・安

全な社会だと思います。

マを、コーディネーターの高宮城さんが、会場参加者の共通理解ということで、子ども達を例に取り上げ、子ども達に自信がある』が揃つて人権は守られるという説明がありました。

安心・安全な社会とはどんな社会か、突き詰めていくと『挨拶が出来る社会』というフィールドは、家庭という小さな社会が寄り集まってできています。だからこそ、家庭からの挨拶

「おはよう」や「ありがとう」、「ただいま」、「おかげ」を自然に声に出して言える環境こそ重要だと

特別分科会1
壱屋小学校PTA
副会長 野津利奈

当たり前に挨拶のある日

思えます。家庭・学校・地

域で挨拶が出来て顔の見え

る環境が、安心・安全な社

会=人権を守るということ

は話してはいけないと教え

られる現代の子ども達にとっ

て、たかが挨拶とも言えな

いように思います。家庭内

でも共働きで朝の挨拶すら

していきたいと思いました。

特別分科会2
松田小学校PTA
会長 當眞修

テーマは「食育」、官野座文化センターがらまんホールで行われました。

官野座村の志良堂教育長による歓迎の言葉と、松田夢宝太鼓の子ども達による創作エイサーのアトラクションに始まり、基調講演と事例発表、シンポンジウムが行われました。

基調講演では、本県の児童生徒の健康状態を沖縄県教育厅保健体育課の大田指導主事に紹介頂き、生活リズムと食事バランスの大切さを改めて実感しました。

特に、成長期にある子ども達の欠食は成長に大きな支

障をきたすものであり、朝

食は必ず摂取させて登校させることを共有していくた

ります。スマホやネットの増加による人間関係の希薄さが問題視される中、社会

というフィールドは、家庭

における歓迎の言葉と、松田

座文化センターがらまんホールで行われました。

事例発表の座間味小中学校、池間小中学校の話では、生きていく力をつけさせる

「食育」を実践しているよ

うに思いました。学校、P

T A、地域が連携して取り組んでいるのを見て、子

ども達が成長し、さらには地

元に戻り次ぎの世代に繋げ

られる取り組みとして我々

の地域でも地産地消等「食

組みをしていきたいと考え

ました。シンポジウムでも

活発な意見交換があり、と

ても有意義な時間でした。

特別分科会2
「食育」シンポジウム

基調講演では、本県の児童生徒の健康状態を沖縄県教育厅保健体育課の大田指導主事に紹介頂き、生活リズムと食事バランスの大切さを改めて実感しました。

特に、成長期にある子ども達の欠食は成長に大きな支

障をきたすものであり、朝

食は必ず摂取させて登校させることを共有していくた

ります。スマホやネットの増加による人間関係の希薄さが問題視される中、社会

というフィールドは、家庭

における歓迎の言葉と、松田

座文化センターがらまんホールで行われました。

事例発表の座間味小中学校、池間小中学校の話では、

生きていく力をつけさせる

「食育」を実践しているよ

うに思いました。学校、P

T A、地域が連携して取り組んでいるのを見て、子

ども達が成長し、さらには地

元に戻り次ぎの世代に繋げ

られる取り組みとして我々

の地域でも地産地消等「食

組みをしていきたいと考え

ました。シンポジウムでも

活発な意見交換があり、と

ても有意義な時間でした。

文部科学大臣表彰

◆ 団体の部 石垣市立石垣小学校PTA、那霸市立曙小学校PTCA

日本PTA全国協議会表彰

◆ 個人の部 長山 勝美（沖縄県PTA連合会前副会長）

中村 絹江（官野濱市PTA連合会元会長）、狩俣 勝成（宮古地区PTA連合会元会長）

◆ 団体の部

名護市立屋部中学校PTA、那霸市立さつき小学校PTA

九州ブロックPTA協議会表彰

◆個人の部　具志堅 勉（国頭地区PTA連合会前会長）

星野 文彦（中頭地区PTA連合会元会長）、島尻 賢一（沖縄市PTA連合会元副会長）

樋口 泰子(那覇市PTA連合会前副会長)、金城 達功(島尻地区PTA連合会前会長)

新川 清孝（八重山地区PTA連合会前副会長）

◆ 団体の部

名護市立大北小学校PTA、那霸市立銘刈小学校PTCA、那霸市立松島中学校PTA

校区自治会公
民館において、
一際大きな笑い
声が響きます。
ここでは、子
ども達と地域の長
寿会の皆さんと
の交流会が行わ
れています。
2年生の生活
科の一環で、「地
域とのふれあい
交流」の「コマで
地域探検を終え
た子ども達がお
世話になつた地
域の方々に感謝
の気持ちを伝え
る交流会です。予
め話し合い、
プログラムや役
割分担等をして
当日に臨みまし
た。「うちなーぐ
ち」での始めの挨
拶から歌や工イ
サー等の多彩な
プログラムの中
でも、子ども達
によるマッサー
ジサービスには、



「とても気持ちよ
くて長生きでき
るさー」「孫がき
たみたいよー」等
長寿会の皆様も
大喜びで楽しい
ひと時を過ごし
ていきました。こ
のようすに、本校
では地域連携や
地域教育資源を

活用して、地元の自然や歴史・文化・伝統などを理解し、地元を愛し、地元を誇れる「ふるさと教育」を目指し、全学年で多くの体験学習に取り組んでいます。他にも海岸での生き物観察やアーティ

港川小学校
校長 銘苅 健

サ取り、黒糖づくり、地域の自慢まーい、戦争体験者への聞き取り等を通して、児童は地元地域のすばらしさに気づき、地域の「ひと、もの、こと」を大切な「宝物」として誇りを持てるよう体験をしています。それができるのも地域の大きな協力のお陰であり、併せて児童が地域の方々に「元気パワー」を分け与える「双方の交流」が地域連携を充実・発展させていくので、地域力に感謝し、学校と地域の笑顔作りにこれからも努めていきたいと思います。

平成8年に元気な双子の女の子が生まれました。その日から生活が、がらっと変わり毎日がてんやわんや、嬉しい悲鳴です。我が家は上が双子の女の子、その下に男の子3人の7人家族。私達夫婦は、子ども達に自分の事は自分で起きる様になつて欲しいという思いがあり、子ども達のしつけにく話し合つたのを覚えてます。子ども達が5歳の頃から家事をさせました。

最初は、洗濯物たたみから始め、部屋の掃除や子ども達ができる事は子ども達にさせ、失敗して



と言ふようになりました。双子の娘達は、小学校4年生になると料理に興味もち始め、台所でお母さんと一緒に夕飯を作つたりしました。そして、私がPTAの会長をやり始めると、

も怒らず、やり終えると「ありがとう」の言葉をかけます。

島尻地区
PTA連合会
会長 島崎朋広

長男と次男は学級委員長に立候補したり、三男は童話お話大会に挑戦したけど、親の真似をしてる様に思えてとても嬉しい気持ちになりました。私は、PTA活動を通して子育てについてよく考えます。子どもは、親の背中を見て育つといいますが、親が一生懸命頑張る事が、子ども達にとって良い教育になるのではないかと。これからも、すくすくと育つていく子ども達と一緒に頑張っていきたいと思います。

木もれ陽

地域連携で育む「わったー宝」

我が家の子育て 子どもに感謝

我が校区の文化・歴史遺産紹介

戦後の芸能と嘉手納

嘉手納町は戦前から芸能が盛んで、戦後の復興期に県内で活躍した彼ら4人の偉人は嘉手納出身者である。

A poster for "Ryukyu Classical Music" (琉球古典音樂) featuring a portrait of a man in traditional Ryukyu courtly dress (shiro-eboshi hat and dark robe). He has a serious expression and is looking slightly to the right. The background is a textured, warm-toned surface.

第23回

裏方一冊



【読み聞かせ ボランティア

クラスを決めて1年間担当していました
翌年には正式メンバーも決まり、名前も
「ひだまりの会」に決定しました。
初めの1年間は、何人かは話を聞いていたが、殆どの生徒は聞いていないことが多く、試行錯誤の年だったそうです。
毎週月曜日に読み聞かせをすることで、生徒達と顔見知りに



ひとだまりの会メンバーと平良教頭(後列中央)

なり、交流を深める
ことが出来て、今に
至っていること。

クラスを決めて1年間担当していました
翌年には正式メンバーも決まり、名前も「ひだまりの会」に決定しました。

初めの1年間は
何人かは話を聞いていたが、殆どの牛
徒は聞いていないことが多く、試行錯誤
の年だったそうです。

学校以外の場所で声を掛けてくれたり、当時は全く聞いていなかつた生徒からは「あの時はごめんなさい」と謝られたこともあります。毎週、読み聞かせをするのが楽しみで学校に来ている。読み聞かせを通して、生徒達と繋がりを持てることが一番」と、皆さんには嬉しそうに話してくれました。

これまでの活動が
称えられ、読書を精
通する活動が優秀で
あると、読書活動優
秀実践校として、今
年度、沖縄県教育長
表彰を受けました。
これからも、読み
聞かせを通して生徒
達との交流をもつと
もっと深めていくつ
欲しいと思います。

幸地亀千代は、戦争になり消失してしまった工工四を再刊する為、恩師である世礼国男、兄弟弟子である西島宗次郎らと「声楽鑑附工工四」を完成させ、昭和23年7月に復活した「野村流音楽協会」の初代副会長、昭和38年には会長となりました。

奥間盛正

奥間盛正は、戦後のラジオ（琉球放送）を中心に古典音楽の復興に力を注ぎ、昭和41年に「野村流古典音楽保存会」の副会長に就任しました

でいました。戦後、石川難民収容所で肉親を失い、希望を失つた人々に「ヌチヌス」ジサビラ（命のお祝いをしましょう）』と声をかけ、宇嘉手

主催の「うたの日コンサート」が開催されています。BIG INのボーカル比嘉栄昇さんは、うたの日コンサートでこう呼びかけます。

P.T.A連合会
事務局 石嶺利和

音楽の芽は、今も
嘉手納町で咲き続け
ています。

中学校PTA
新垣あや子

理事会報告

第7回 理事会

平成29年12月15日(金) 県PTA会館にて開催

【定数: 26人中 出席 (19人) 委任 (7人)】

1. 協議事項

- (1) 第59回沖縄県PTA研究大会国頭大会
- (2) スマホおきなわルールづくり
- (3) 第68回沖縄県童話お話意見発表大会
島尻大会反省
- (4) その他

2. 報告事項

- (1) 常置委員会より
 - ・総務
 - ①これから童話お話意見発表会についてアンケート調査を行う
 - ②次年度の県PTA70周年事業に向けての取り組みを進める

・家庭教育

- ①2/10の食育バスターについて
- ②家～なれ～運動、親子の水曜日の実態把握をもとに推進する
- ③メディア・ノーテレビ・読書の日の啓発活動を推進する

・調査研究

- 「子どもの実態調査」を行う

・健全育成

- 「夜9時までには帰りましょう運動」のポスターを増刷し、飲食店等に貼ってもらう取り組みを行う

- (2) 第6回理事会議事録

- (3) その他

PTA会長さんへ

安全委員会より

次年度(平成30年度)の「安全会共済加入の手続き」が始まります。

※ご案内・申請書類・平成30年度版「安全会制度のしおり」は

3月上旬に送付予定

○共済契約申込書(様式1) → 3/31までに必着!

○共済金の納入

○名簿等必要書類の提出

] 4/1~6/30まで【期限厳守】



※上記について提出期限が過ぎた場合、4月1日から共済掛金が払い込まれた日までの間に発生した事故に対しての共済金は、お支払い出来ません。(共済規定一事業方法書第7条)

(一社) 沖縄県PTA連合会
安全委員会

〒900-0002
那覇市曙2-26-27
TEL (098) 867-8645
FAX (098) 867-0309

編集後記

あっという間に2017年が終わり、2018年に突入しました。平成30年度がスタートする戌年は、本会も大きな事業が待っています。

家庭・学校・地域が一つになり、大事な宝(子ども)を育てていける仕組み作りを行っていけるよう頑張っていきたいと新年の抱負の一つに掲げました。小さな力をたくさん集めると大きな力になります。一人ひとりの意識で環境は変わります。私自身、ラスト3年のPTA活動です。PTA活動を通して学んできた事を、多くの皆さんに共有できるよう活動していきます!

県PTA広報委員になって2年、県全体の記事を見ていると凄く勉強になります。記事を真っ先に見る事ができるなんて広報委員の醍醐味ですね♪「広報委員やっててよかったです」と毎回感じさせてくれる県PTA広報紙作りは楽しくて仕方ありません♪興味がある方はぜひご一報くださいませ~お待ちしております!本年もどうぞよろしくお願ひいたします♪(奥間由紀江)

広報委員: 末吉建作(那覇) 新垣早苗(中頭) 奥間由紀江(中頭) 外間隆史(島尻)
通信委員: 仲間里枝(国頭) 伊波孝子(宮古) 髙川美穂(八重山)